

～中学生の保護者の皆様へ～

## 「わくわく」は可能性の宝箱！ 朝山あつこ

～日本講演新聞 2020. 8. 17 より～

朝山さんが、野球部の中学生3人に「自分がわくわくするもの」を聞きました。すると、3人とも「野球」と答えました。そんな時、大人は「じゃあ、将来は野球選手になれるといいね」と言いがちです。わくわくを短絡的に職業に繋げるのではなく、まず、「野球の何にわくわくするの(何が好きなの?)」と聞くといいそうです。

Aくんは「作戦や戦略を立てるのが好き」

Bくんは「チームのために自分もその役にたっているのがうれしい」

Cくんは「素振りや筋トレで、日々自分の小さな成長を感じとれる事が楽しい」

と、その理由は、それぞれでした。

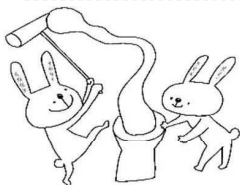
大人は、子どもの内面の「わくわくする理由」「好きな理由」「頑張れる理由」をキャッチする観点を持つ事が大切だそうです。

例えば、先生がAくんの「わくわく」に気づいていたら、「体育大会の騎馬戦で勝つための作戦を、考えてくれないか」という事ができます。

家庭でも「家族旅行をしたいけど、車いすのおばあちゃんも一緒に楽しめるような計画を考えてくれない？」などと、日常生活の中で子どもの可能性を広げて成長を後押しできるようになる、という事でした。

朝山さんが開発したキャリア教育プログラムは、経済産業省主催「第7回キャリア教育アワード」で最優秀賞(中小企業部門)を受賞されています。

朝山さんは「子どもたちの中の、わくわくして動き出さずにはいられない自分だけの原動力のようなもの」を「わくわくエンジン」と呼ばれていますが、私たちも、子どもたちの中の「わくわくエンジン」をたくさん見つけてあげられると、すてきですね。



家庭教育支援員 清田智子  
菊池市教育委員会 生涯学習課  
25-7232

## 本の紹介 「買い物は投票なんだ」

～EARTHおじさんが教えてくれたこと～

ほう(絵) 藤原ひろのぶ(文)

この本は、「買えるを変える」事を提案するメッセージイラストブックです。

この本では「未来の子どもたちが、安心して暮らせる地球にする為に、今の私たちがよく考えて、何を買うかをしっかり選ぶ事が大切」なのだを教えています。

今、先進国では、自分たちが快適に暮らすために、たくさんのエネルギーを使い、たくさんの水を使い、たくさんの食べ物を作っては捨てています。その結果、地球は汚れ、地球温暖化や大気汚染など、私たちにもその影響がだんだん出てきているようです。

では、私たちは何をすれば、いいのでしょうか。すぐにできることは、この本にあるように「買い物は投票なんだ」という意識ではないでしょうか。例えば、

- ① 洗剤や歯磨き粉などは、化学物質でできたものではなく、自然の成分でできた物を買う(川に、海に、肌にやさしい)
  - ② 肉や野菜や果物も、なるべく国産、できれば地元産の物を選ぶ(国産物は、輸送にかかるエネルギーが少なくて済み、輸入物より地球に負担がかからない)
  - ③ 自分が食べる物や飲む物は、なるべく家から持っていくようにする(エネルギーの節約とお金の節約にもなる)等
- 買う物が変われば、売られる品物も変わってきます。「地球にやさしい物が、たくさん店頭に並ぶ」そんな世の中にできると、地球も私たちも未来の子どもたちも、ハッピーになれるそうですよ。